



ワーク・ライフ・バランス と 企業業績

阿部正浩



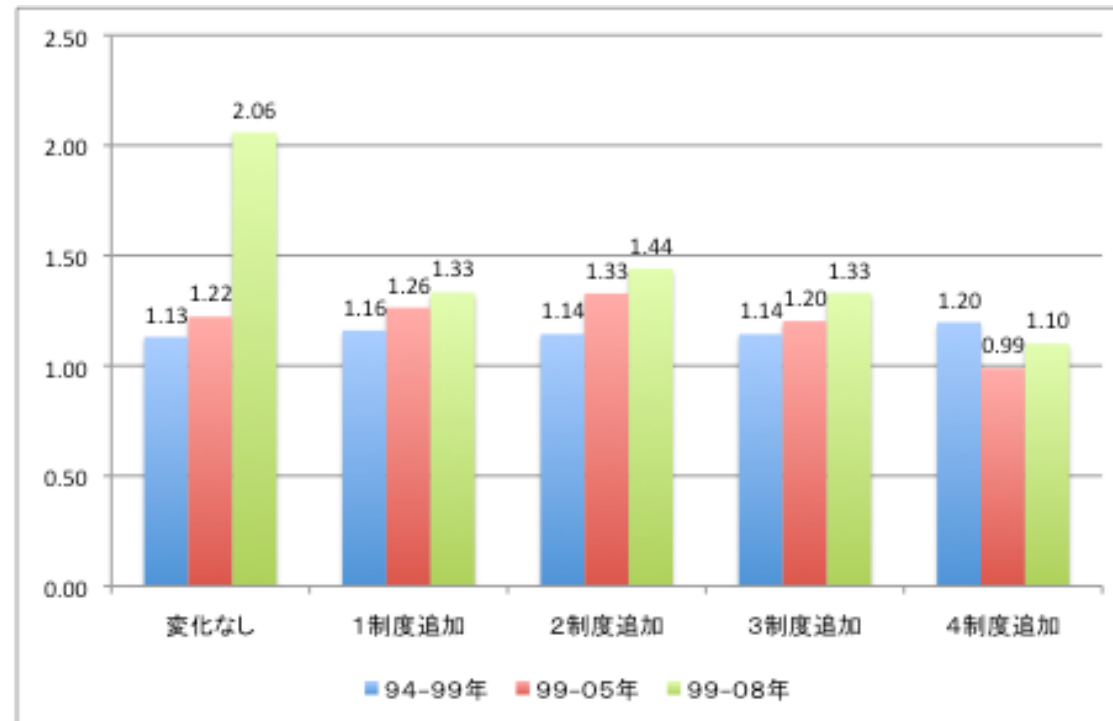
今回のプロジェクトの目的

- ワーク・ライフ・バランスを導入する企業が増加している
- 人事施策の一つであるワーク・ライフ・バランスが企業業績にどのような影響を与えているか？
- ワーク・ライフ・バランスをもっと効果的な施策にするためには、どのような条件を整えていくべきか。

ESRI調査

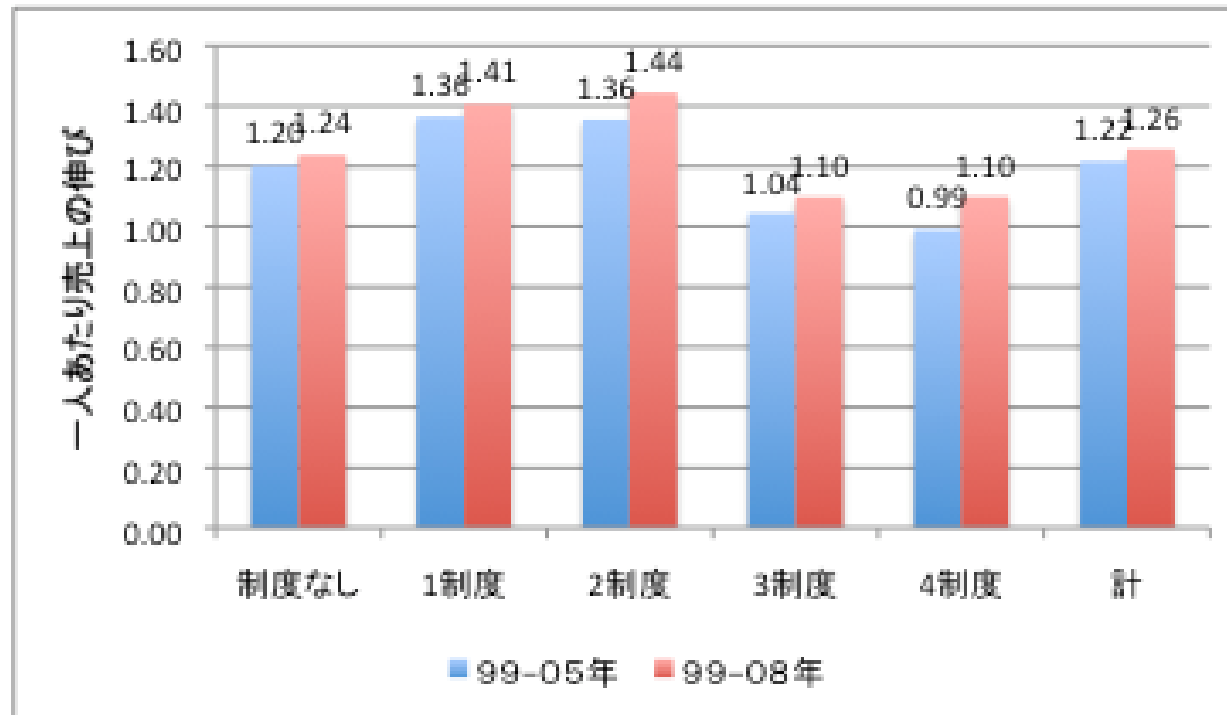
- 調査方法
 - 企業調査：郵送法によるアンケート調査
 - 管理職調査：インターネット調査
 - 一般社員調査：インターネット調査
- 調査対象
 - 企業調査：従業員数**300**人以上の企業**3000**社を無作為抽出
 - 管理職調査：各調査対象企業1社につき5名を各企業が抽出
 - 一般社員調査：各管理職1名につき2名の一般社員を各管理職が抽出
- *企業担当者には部下が育児休業をとったことのある管理職を各1名以上、また各管理職にはできるだけ男女1名ずつ部下を選んでいただけるように依頼した。
- 回収数
 - 企業調査：**457**社
 - 管理職調査：**910**人
 - 一般社員調査：**1,672**人
- 調査期間
2008年9月19日～11月7日

両立支援制度の追加と 一人あたり売上の伸びの関係



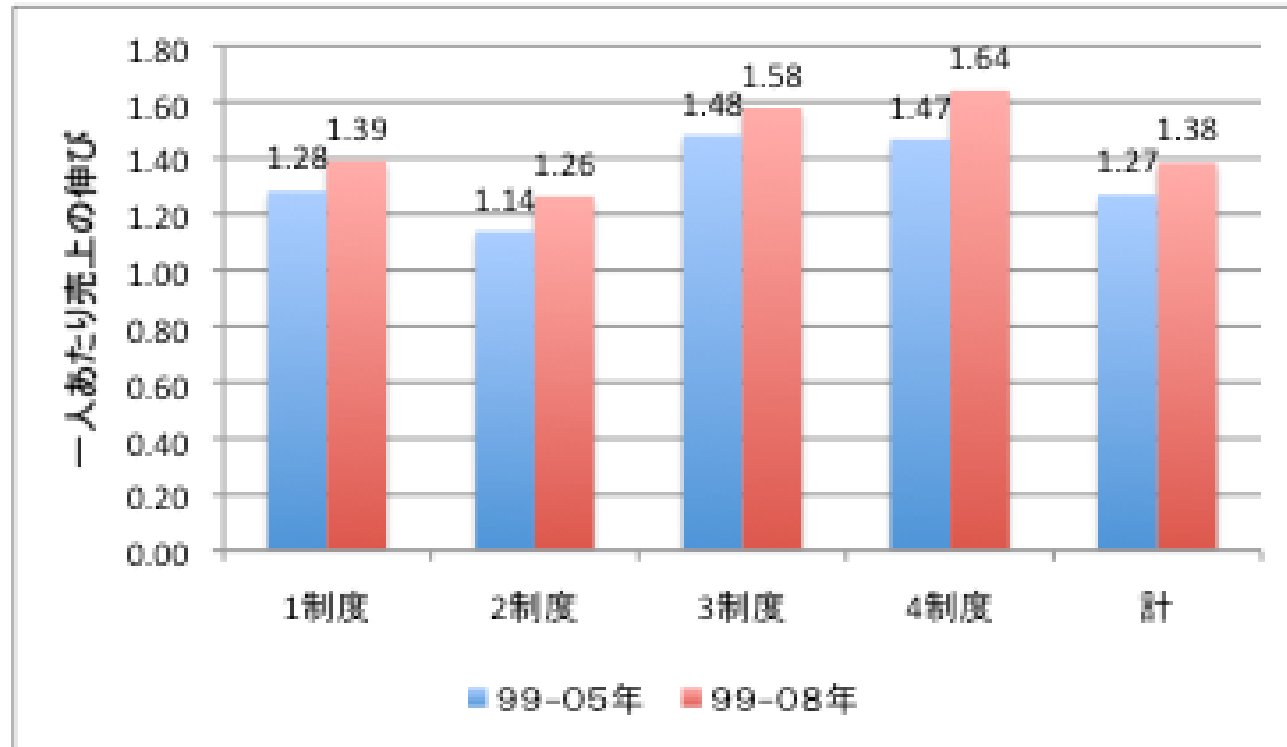
- 2000年から05年にかけて制度を追加したかどうか。
- 変化なし企業の売上の伸びが高い

新たに制度を導入した企業の 一人あたり売上の伸び



- 2000年から05年にかけて制度を導入した企業のみを対象。
- 業績の伸びに大きな違いはみられない。

制度を充実させた企業の 一人あたり売上の伸び



- 2000年時点で一つの制度があった企業を対象。
- 充実させたから業績が伸びたわけでもない。

制度だけでは効果なし

- 制度を新たに導入したり、充実させることは、企業業績に対してあまり影響を与えていない。
- なぜか？
- 制度の運用による企業間の違いが影響しているのではないか。